

令和元～3年度大島地区研究協力校「指導方法改善」
令和3年度 沖永良部秋季教育研究大会 小学校部会

知名町立住吉小学校 公開研究会

令和3年11月9日(火) 公開

自分の考えを分かりやすく伝えたり友達の考えを聞いたりして思考を高められる力を身に付けさせたい。



研究主題, 研究の視点

【研究主題】
主体的に学び, 自分の考えをもつ子供の育成
～学び合う活動と確かめ・見届けの時間の充実を通して～

基礎・基本を身に付け, それらを基に自分なりの考えや方法で課題解決する力を身に付けさせたい。



【視点1】学び合う活動の充実

- ア 書く活動の工夫
- イ ペア及びグループ学習における対話の工夫
- ウ 教材・教具の工夫 (ICTの活用を含む)

【視点2】確かめ・見届けの時間の充実

- ア 習熟を図る工夫
- イ 振り返りの工夫

【視点3】学習内容を定着させる取組

- ア 基礎・基本の定着のための取組
- イ 学力向上のための共通実践事項の取組

今年度は、「授業充実の3ポイント」のうち、「山場の工夫」、「確かめ・見届け」に重点を絞り、指導方法の改善を図りました。

研究の視点の手立て

【視点1】学び合う活動の充実

- ア 書く活動の工夫
自分の考えを書くことによって整理し, ペア及びグループ学習で対話することにより互いの学びを深め合うことができるようにした。
- イ ペア及びグループ学習における対話の工夫
対話を通じた子供同士の教え合いや学び合いが展開できるように, ペア及びグループ学習における対話の工夫を図るようにした。
- ウ 教材・教具の工夫 (ICTの活用を含む)
教材・教具の作成や掲示を工夫することで, 数学的な見方・考え方を生かした学習課題に対する解決方法や答えを見い出したり, 全体で解決方法を確認したりした。

【視点2】確かめ・見届けの時間の充実

- ア 習熟を図る工夫
学習内容の確実な定着のために, 終末の学習過程において, 習熟を図る工夫をした。
- イ 振り返りの工夫
終末の学習過程において, 発達の段階に応じた振り返りを行い, 次の学習に生かせるようにした。

【視点3】学習内容を定着させる取組

- ア 基礎・基本の定着のための取組
算数科以外の時間に, 基礎・基本の定着を図るために, 学校全体で様々な取組を行った。(複数人で指導する放課後補充等)
- イ 学力向上のための共通実践事項の取組
全学年, 確実に学力(体力)向上が図れるように, 国語, 社会, 理科, 体育において全学級で取り組む共通実践事項を設定し, 取り組んでいる。

公開授業及び全体会, 分科会の様子

【全体会 I】



研究発表
住吉小学校
鳥丸教諭

【公開授業】



91人の先生方の御参加をいただきました。

【分科会】



【全体会 II】



指導講話
大島教育事務所
富田指導課長



閉会のあいさつ
住吉小学校
中原校長

参加された先生方より

- 大島地区の「授業充実の3ポイント」をおさえ, シンプルに研究を深めていると思った。
- 特にタブレット(ロイロノート, キュビナ)を活用した指導法など今まさに知っておきたい内容を参観でき, 勉強になった。
- 山場の工夫, 振り返りの工夫について中学校でも取り入れていけそうな工夫があった。導入がすっきりしていることで, 習熟の時間がたっぷりあり, 子供たちは「できるようになった。」と実感したと思った。各教科の見方・考え方を意識した授業をしていきたいと思った。
- 小グループで話しやすく, 活発な意見が出されていたことは, 大きな成果である。
- 「主体的な学び」と主題にあるので, 主体性をもたせるためには, 見通しをもたせ, 児童主体で進められるようなレディネスや見通しの工夫があるとよいと思った。